

1. 評価結果概要表

評価確定日 平成19年 12月12日

【評価実施概要】

事業所番号	2276400071
法人名	医療法人社団 清怜会
事業所名	グループホーム 紅葉の家
所在地 (電話番号)	静岡県袋井市萱間933番地の1 0538-49-4911
評価機関名	セリオコーポレーション株式会社
所在地	静岡県静岡市清水区迎山町 4番1号
訪問調査日	平成19年9月5日

【情報提供票より】(平成19年8月25日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成13年12月15日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	41 人	常勤	17 人, 非常勤 24 人, 常勤換算 16.3人

(2) 建物概要

建物形態	併設	新築
建物構造	鉄骨 造り 1 階建ての 1 階部分3棟	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	42,000 円	その他の経費(月額)	高熱水費 13000 円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(200,000円)	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1500 円		

(4) 利用者の概要(平成19年8月25日現在)

利用者人数	26 名	男性	3 名	女性	23 名
要介護1	8 名	要介護2	6 名		
要介護3	9 名	要介護4	3 名		
要介護5	名		要支援2	名	
年齢	平均 85.7 歳	最低	75 歳	最高	97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	公立森町病院 小林医院 いしづか小児科・内科クリニック 諸井病院 大須賀医院 すずき歯科医院
---------	---

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

広い敷地に3つの平屋建てのユニットが点在しているホームである。ユニット間は舗装された小道で繋がっており、利用者は隣の家に遊びにでも行くように職員に介助されながら行き来している。隣接してケアセンターやデイサービスの施設があることから看護師の協力を得たり、合同の行事を共に楽しむなど併設のメリットも活かしている。職員は利用者へのんびりと楽しく過ごしていただけるよう支援しており、利用者には笑顔が多く居間の雰囲気はゆったりと穏やかであったところにその成果が見られた。職員に自己採点をお願いしたところ「8割は出来ていると思います」と謙虚であるが自信をもって答えていただけたことに心強いものを感じた。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目 ①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回、要改善とされた「理念の明示」、「継続的な研修」に改善の後が見られた。「定期健康診断」は協力医またはかかりつけ医により実施されていた。「事故報告書」は作成されて、対応を記録し、必要な場合は家族に見ていただき確認サインを貰っている。検食以外の職員は持参の弁当を食べていたが、利用者と同じ食事をいただく楽しむ工夫を検討していただきたい。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は各ユニットリーダーが職員の意見を聞き、それを管理者が纏めたが、自己評価について全職員に周知されていなかった。自己評価による気付きの効果を活用する為にも次回には全員で取り組むことが望まれる。</p>
	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は1回の開催に留まっている。利用者について、外部評価について等を説明したことが議事録に残されている。利用者が住みなれた地域の中で安心して暮らすべくことに地域の理解は欠かせないものである。運営推進会議の継続によっては是非新しい展開を見出して利用者の安全で安心な生活の広がりを期待したい。</p>
重点項目 ②	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>毎月、利用者の家族に請求書を取りに来ていただいており、その機会を報告や意見の聞き取りに活用している。計画作成に盛り込む家族の要望も引き出して記録されている。家族は面会の際に職員からその間の出来事や健康状態について報告され、明るく優しい対応を含め家族から多くの感謝の言葉が見られた。更に、家族が言い出せないことはないか配慮して利用者や家族の思いの適った暮らしを支援していただきたい。</p>
重点項目 ③	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>民家とはなれた場所に立地している為、近所づきあいのような形は取れないが、散歩での挨拶や会話は日常的に行われている。花畑で作業中の自治会の方からお花をいただいたり、元職員が生産した野菜を届けてくれたりと楽しい交流もあり地域のお祭りには山車が来て一緒に楽しんでいる。災害時の対策として、地域の自主防災組織に加盟しており協力をお願いしている。地域の防災訓練には利用者も参加している。</p>
重点項目 ④	

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「思いやりの介護で笑顔いっぱいの家」をホームの理念としている。重要事項説明書の運営の方針に「明るく家庭的な雰囲気を有し地域や家庭との結びつきを重視した運営」が謳われている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	利用者が自宅での暮らしの延長線で自由に笑顔で暮らしていけるように職員は折々に話し合っている。ホームにいる間は、理念が絶えず頭の片隅にあるとの職員の言葉があった。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	散歩の際の挨拶や会話は日常的に行われており、近所の花畑で作業中の自治会の方からお花をいただいたり、元職員が生産した野菜を届けてくれたりと楽しい交流がある。地域のお祭りには山車が来て一緒に楽しんでいる。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者は評価の意義を理解し、評価を活かして改善に取り組む姿勢である。前回の評価結果についても出来ることから改善に取り組んでいた。	○	職員の意見を聞いて自己評価記入をされたが、自己評価について話されていなかった職員もいることから次回には全職員で取り組み気づきを利用者の暮らしに活かせるよう望まれる。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は1回開催され、利用者の状況や外部評価受審について説明し、グループホームを理解していただく一歩となった。	○	開催された運営推進会議は、計画から報告書まで丁寧な取り組みがされていたが、利用者が地域の中で心地良く過ごしてゆくために、継続した開催により多くの理解者を作っていただきたい。

静岡県グループホーム紅葉の家

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市のグループホーム協議会に出席して相談などのお供にしている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族には面会時や電話で直接に対して報告をしているが、ホーム便りや家族への手紙など書面として残される報告が少ない。	○	直接に対しての報告を主としているが、個々の報告だけでなくホーム全体の様子についても全ての家族に共通の報告が行き渡るよう取組まれたい。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	契約書や重要事項説明書に苦情処理について説明し、意見や苦情があった場合は速やかに対応することが明記されている。面会の際に要望を聞き出して反映している。体操をやって欲しいという家族の要望はすぐに実践されている。	○	家族は不満や苦情を言い出せないこともあると思われるので、アンケートなどの実施により、些細なことも引きだせる工夫が望まれる。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ホームでの就業希望者には一日実習をしていただき継続の見極めをして採用を決めている。職員のユニット間の異動は1名に留めるよう配慮しているが職員の異動が多く家族から不安の声があった。	○	移動や離職を抑える取り組み、職員交代の際のルール作りなど、利用者や家族の不安をもたらさない工夫をお願いしたい。また、職員が新たに配属された際は利用者や家族に必ず紹介して会話がしやすい状況作りをお願いしたい。
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	採用時に既定の研修が義務付けられており、職員の認識レベルを同一にしている。内部研修も折々に開かれている。現在、事例研究も行われ全職員で取り組んでいるが、結果やその後の活用が楽しみである。	○	実践者研修・管理者研修に参加した職員は、その有意義であることをホームの全職員に体験していただきたいと語っていた。まだ参加できない職員に、内容を報告し知識と感動を共有していただきたい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	系列のグループホーム間での交流はあるが、ネットワーク作りや相互訪問などはされていない。	○	他ホームとの交流は多くの気づきを得られる機会であり、またネットワーク作りにより、異なった視点からの助言や情報を得ることは利用者へのサービスの向上に繋がるので実現していただきたい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居希望者の生活歴や生活環境を良く把握し、馴染みやすい雰囲気作りに役立てており、入居前には必ず見学していただく。夜間に不安をもたらさないよう家族の宿泊や食事にも対応している。外泊も自由であり、週末にはいつも自宅に戻る利用者もいる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	介護の仕事の意義を深く理解している職員は、日々の支援の中で感動や知識を利用者から沢山いただいております、それゆえに頑張れると語っていた。		
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメント時に本人の意向の把握に努めていると共に、生活の中でも本人の意向を確認しながら支援を行っている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	アセスメントの情報や日頃の生活の中で得られる情報をスタッフが記録し介護計画の作成時に反映させている。また定期的カンファレンスを開催している。	○	時間の制約や調整の困難さはあると思われるが、本人や家族の参加したカンファレンスが開催されることを期待したい。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に1度のモニタリングの実施を行っており、計画の見直し、修正を行っている。過去には目標の達成、見直しの中で車いすからシルバーカーへと移行したケースもある。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	希望や必要に応じ、受診時の送迎等を随時行い、柔軟な対応を行っている。また、家族の宿泊や食事にも対応している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医は本人の希望に合わせている。協力医の往診を受けている利用者は定期的な血液検査も実施している。また受診は家族が付き添っているが必要に応じてホーム側で対応して適切な医療が受けられるよう支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	個々の入居者の状態の変化に応じ、家族と充分話し合いを行い方向性を統一できるように取り組んでいる。最終的には自宅で亡くなったが、ぎりぎりまでホームで介護された実例がある。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	調査時も本人の尊厳を大切に、周囲の状況に配慮した声掛けや介助が行われていた。また個人情報も事務所で管理されている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者の健康状態や精神状態に合わせて個々のペースに沿うことができるように配慮されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立はユニットごとに順番で入居者の希望を取り入れて作成している。また入居者の個々の力を生かしながら準備、片づけが行われている。気候が良い時期には庭へ出てお弁当をいただくこともある。	○	勤務のシフトの体制や食材料費の負担の問題等の兼ね合いはあるが、職員も入居者と一緒に食事を楽しめる環境作りの検討をお願いしたい。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	回数は週に3回、時間は午後と目安は決められているが、入居者個々の状況にあわせ柔軟に対応している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	家事を中心に生活の中で入居者個々の特性に応じた役割を持てるよう声掛けや見守り等の支援が行われている。隣接のデイサービスに親戚の方が見えるのを楽しみにして遊びに行く利用者もいる。野外活動計画書が作成され行事として楽しんでいる。	○	広い庭や畑があるので、それらを活用し入居者の力を発揮できる場のひとつとして活用されることを期待したい。
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近隣への散歩は日常的に行われている。また車を使った外出も行っており、気分転換の機会となっている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間は施錠しているが、日中は見守りによる対応が行われており、鍵はかけられていない。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域の自主防災組織に加盟しており、地域の防災訓練に参加している。隣接するケアセンターと合同の避難訓練を行っており、食糧の備蓄はある。	○	ホーム内でのあらゆる災害や状況を想定した定期的防災訓練を実施し、職員の対応だけでなく地域の協力体制についても確認しておくことを期待する。また非常用飲料水の備蓄も望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1400カロリーを目安とし食事の摂取量は介護記録に残し把握している。水分摂取については医師の指示があった者に対しては食事摂取量管理表でチェックしている。	○	献立の栄養バランスについて時々栄養士に意見を求めるなどし確認をしていくことも検討して欲しい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者それぞれが思い思いに共用空間でくつろいでおり、居心地の良い場となっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	それぞれの居室に使い慣れているものが持ち込まれており、今までの生活が少しでも継続できるよう配慮されている。		